

研究・調査報告書

報告書番号	担当
24	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Risk factors for thyroid cancer: a prospective cohort study. 甲状腺癌の危険因子について：前向きコホート研究	
執筆者	
Navarro Silvera SA, Miller AB, Rohan TE.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Int J Cancer. 2005. 116(3): 433- 438	
キーワード	
甲状腺悪性腫瘍、前向きコホート研究、喫煙歴、アルコール飲酒量	
<p>要 旨</p> <p>甲状腺癌の発症率は男性に比較して女性で高く、喫煙とアルコール飲酒量は逆相関を持つ可能性があることが報告されている。これらの知見より、National Breast Screening Study(NBSS)に登録中の40から59歳のカナダ人女性、89835人を対象とした前向きコホート研究を行い、甲状腺癌のリスクと月経周期、妊娠、ホルモン、喫煙、アルコール飲酒との関連を検討した。平均観察期間は15.9年で全甲状腺癌発症は169例観察した。月経周期、妊娠、ホルモンによる全甲状腺癌の発症リスクの変化は認めなかった。5人以上出産した経産婦では乳頭癌のリスクが減少した。喫煙開始年齢、喫煙期間、一日当たりの喫煙量、年間喫煙量、アルコール飲酒量は甲状腺癌リスクと関連を認めなかった。</p>	